

第1回 わくわく授業づくりワークショップ

本ワークショップへのご参加、ありがとうございます。
ご参加いただくにあたり以下のことに留意してください。

- ①入室の際は【名前・所属・都道府県】を入力してください。
(例) 網野 未来 附属坂出小学校 香川県
- ②マイクはOFFにしてください。
- ③録音・録画はご遠慮ください。
- ④チャットを使ってご意見・ご質問を受け付けます。
- ⑤飲食はご自由にどうぞ♪

※開始時刻は18:30ですが、開始までの時間でも、簡単な質問をいくつかさせていただき、みなさんとのコミュニケーションを図らせていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

☆本日のメニュー☆

はじめに 自己紹介

1 学級づくりで大切にしていることって？

(休憩 10分間)

2 仲間を大切に育て、

あたたかな学級となるには・・・

～構成的エンカウンターを通して～

～実践編～

おわりに アンケート&質問タイム



網野未来 増田洸一 安岐美佐子 藤川裕人

学級づくりで

大切にしていることって何ですか？



オンラインの方は

チャットにうってみてください♪

多様な他者と共に、自ら学びを進める子供の育成 ～自己調整力を育てる学習の展開～



ルールとリレーションが確立された学級集団
支持的風土の形成、学級集団の目的を共有化

ルールとは

学級で共有された行動様式



リレーションとは

温かくて受容的で自由な人間関係

支持的風土とは

考えを安心して表出したり、
失敗や間違いを受け入れたりすることが
できる学級の雰囲気



学級集団の目的の共有化

どんな学級を目指すか、どんな学級をつかっていくかというゴールを明確にし、共通理解していくこと



多様な他者と共に、自ら学びを進める子供の育成 ～自己調整力を育てる学習の展開～



ルールとリレーションが確立された学級集団
支持的風土の形成、学級集団の目的を共有化



低・中・高学年の 実際



大切にしていること

- ◆ **子供を見取り、見通しをもって意図的・計画的に指導**
 - ・授業の中で
 - ・日々の生活の中で
- ◆ **よりよい人間関係や信頼関係を育む**
 - ・発達段階に応じて
- ◆ **自発的、自治的な活動の充実を図る**
 - ・子供の思いを表出できる場の設定
- ◆ **互いを認め合っている行動の称賛**
 - ・みんなが参加、みんなが喜ぶ
 - ・配慮が必要な子供のために



学級として大切にしていること

低学年 学級が安心して過ごせる場であると思えるように

- ・さまざまな情報を得る
- ・友達とかかわる楽しさを味わわせる
- ・一人一人に役割を与える

⇒教室移動の「行ってきます」「行ってらっしゃい」 【所属感】

⇒友達と一緒に活動して、何かを達成した時にはハイタッチ【達成感】

⇒毎日の仕事(当番の仕事)を一人一役にして、クラスのために
役に立つと実感することができるよう 【自己有用感】

⇒下校の際には、ジャンケンやハイタッチで 【わくわく感】

学級として大切にしていること

中学年 友達同士の関わりから、自己の成長へ

- ・仲間と共に成長する場を設ける
- ・子供の思いを実現できる機会を設ける
- ・言葉を使い、目的意識をもたせて話し合う場を設ける

⇒個人の目標をクラスみんなで共有できるようにしておき、いつも応援したり、認め合ったりできるように 【協働】

⇒係ごとにイベントを企画し、実際に行い、次へつなぐ 【達成感】

⇒グループで課題解決する場を多く設定し、みんなの力で解決する喜びを味わえるように 【一体感】

学級として大切にしていること

高学年 互いに高め合い、学校の中で自己実現ができるように

- ・学級組織を民主的にし、学び合えるようにする
- ・学校のリーダーとなり、活躍を学級で支え合う
- ・「学級としての誇り」「学校としての誇り」を意識させる

⇒委員会では、子供たちが「学校をよくするために」という目的を
明確にしたうえで計画・実行・振り返りを 【企画力・運営力】

⇒行事ごとに、「全校生のために」「どんな姿が理想か」を子供と
共有（将来や理想の自分を思い描かせて） 【想像力】

⇒みんなのために動けたを価値づける。 【自己有用感】

話し合いの場面では・・・

【自分の思いや考えを】

- ・相談する場
- ・伝える場
- ・説明する場

【自分と友達の考えを】

- ・交流する場
- ・違う考えを見付ける
- ・同じ考えを見付ける

*話し方・聞き方について

よい所を価値付けたり、全体で共有したりしていく



教師の役割として・・・

☆言葉を大切にしたら関わり☆



- ・ 教師が**モデル**になって （表情と動きは、おおげさに！）
 - 「なるほど！」 「すてき！」 「〇〇が～でいい！」
- ・ きつい言葉、嫌だと感じる言葉を聞いたときをチャンスと捉え、相手を否定せず、**受け入れる**言葉を
 - 「～と言うといいよ」 「〇〇という言葉はどうかな」
「～と言われたらどんな気持ちになるかな」

～休憩タイム(5分)～

■質問を受け付けます。

チャットでも、ビデオをオンにして直接話していただいても結構です。

■休憩後は、明日から使える「なかまづくり」のエクササイズ(構成的エンカウンター)を、皆様と一緒に進めてまいります。

仲間を大切にする子供を育て、
あたたかな学級となるには・・・

～実践編～



あたたかな学級になるには・・・

☆3つのポイント☆

■ほめて認める目と心

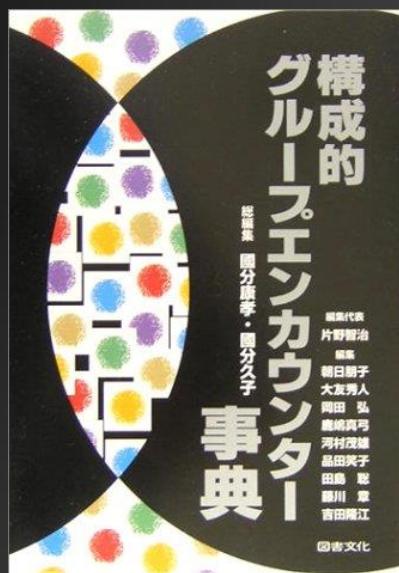
■自分や友達よさに気付ける心

■自分の思いを安心して話せる雰囲気



エンカウンターとソーシャルスキルを 手がかりに

参考文献



構成とは？「枠を与える」という意味



自由になれる

進め方

- ①インストラクション・・・教師の**自己開示**→抵抗を軽減
- ②エクササイズ（課題）
- ③シェアリング・・・感じたことや気付いたことの共有
→自己発見
- ④**介入**・・・リーダー（教師）の割り込み指導

エンカウンターとは？ 「出会い」・・・心と心の通い合う
「私」と「あなた」の関係

- 原理
- ①本音（あるがままの自分）に気付くこと
 - ②エクササイズを介して自己開示を促進すること
 - ③シェアリング→見方・受け取り方・考え方の拡大・修正

- 目的
- ・ふれあい（本音と本音の交流）
 - ・自他発見（かけがえのなさの発見、共感、受容）
- 人間的「成長」

構成的エンカウンターで行う エクササイズ

〈6種類〉

①自己理解

②他者理解

③自己受容

④自己表現・自己主張

⑤感受性の促進

⑥信頼体験

のために

どのエクササイズを選べば？

- ①実施の目的は何か
- ②子供の実態
- ③教師の願いや 子供の思いや願い
- ④リーダー（教師）の経験度とエクササイズの特徴

選び方の留意点

- 動きのあるもの
- 分かりやすいもの

低：短く繰り返されるもの

中：協同して行うもの
友達のよさを知れるもの

高：自覚を高めるもの
小学校生活を振り返るもの



ねらい クラスの子供の実態に応じて活動を選択しましょう。

活動 「〇〇〇〇」 (10～15分程度)

インストラクション (1、2分)

- ・目的や活動のよさを伝える。

介入 (6～8分)

- ・参加が難しい子への支援や、目的を達成するための手立て。

シェアリング (3～5分)

- ・自己表現することによって明確化され、さらに共有することで、新しい自分を発見したり、他者への理解を深めたりすることができる。

～子供たちの様子をご覧ください～

5年生：学級活動

ねらい

②他者理解

選択した理由

②子供の実態

構成的エンカウンターで行う エクササイズ

〈6種類〉

- ①自己理解
- ②他者理解
- ③自己受容
- ④自己表現・自己主張
- ⑤感受性の促進
- ⑥信頼体験

のために

どのエクササイズを選べば？

- ①実施の目的は何か
- ②子供の実態
- ③教師の願いや 子供の思いや願い
- ④リーダー（教師）の経験度とエクササイズの特性

- ・ 聴きあうことの大切さを感じられるように。
- ・ 1つのものを完成するよさを実感できるように。

活動

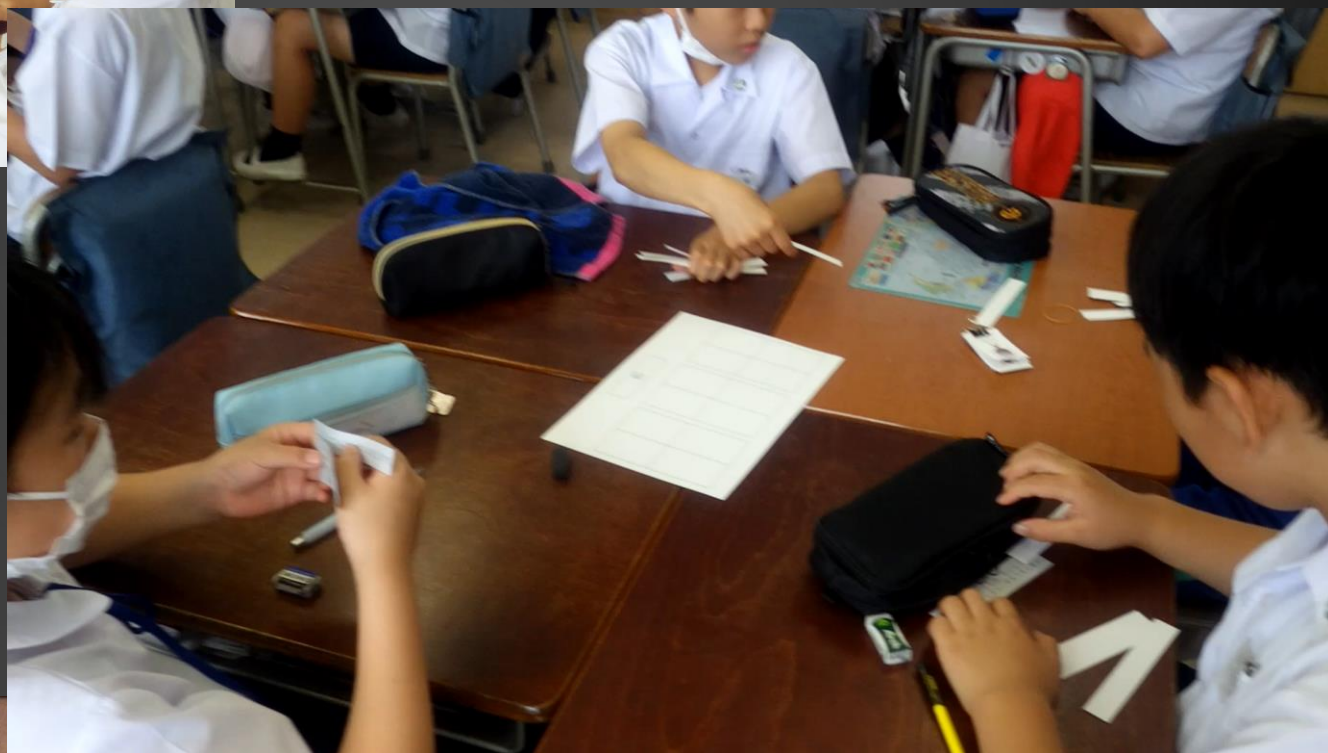
「むしむし席替え」

（15～20分程度）

【インストラクション】



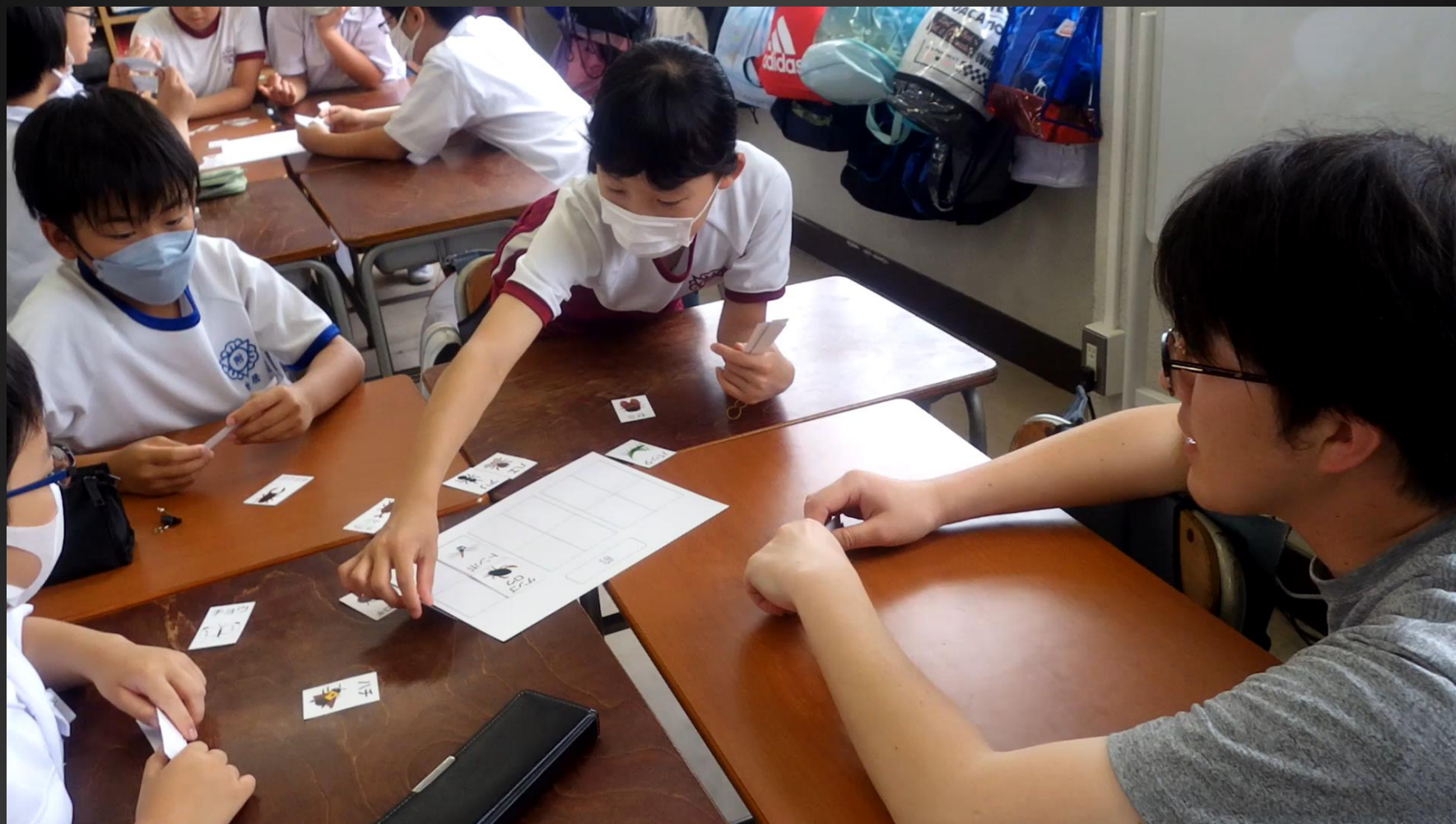
【活動中】



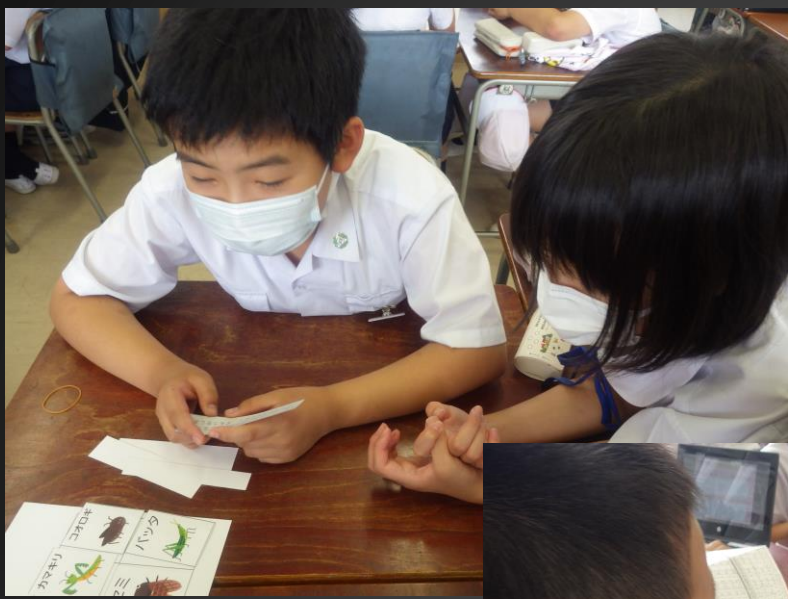
【活動中】



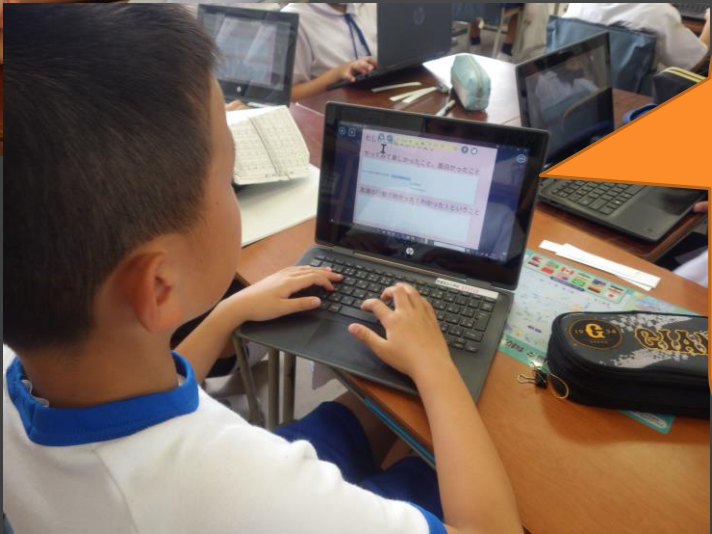
【介入】



【シェアリング】



友達の言っていることをよく聞くと、分からなかったことが分かったので、聴くことを大切にしたい。



一人では完成できないことが、みんな
で伝え・聴き合うこと
で、完成できた。
聴いてよかった。

イメージできたたでしょうか。



では、一緒に やっていきましょう

ねらい 共通点を見いだすことで、知らないもの同士の親近感を高める。
自分の考え方を明確にする。

活動 四つの部屋

- ・部屋の四隅に選択肢を提示する。
- ・自分の答えに一番近いと思う場所に移動して、選んだ理由を話す。



インストラクション

- ・「似ている点を聞き合いましょう。みなさんは、知らない者同士なので、まったく同じということはないですね。違う点も探してみましょ

う」

介入

- ・「相手の話は最後まで聞きましょう」を認める。
- ・理由がうまく話し合えないグループには、教師が質問の仕方や聞き方をデモンストレーションする。

シェアリング

- ・「やってみて感じたことを話しましょう」
- ・「グループでどんなことを話し合いましたか」

一緒にやってみましょう。

かけ

肉
ぶっかけ

ざる

かま玉

一緒にやってみましょう。

沖縄

京都

大阪

北海道

一緒にやってみましょう。

ねらい 対人関係の不安・緊張を低減しながら、相手との関わりを深める。
他者の多様な面に気付く。

活動 アドジャン ～ステップ3～

- ・0か1を指で表す。
- ・出した指の数の合計と同じ番号の話をする。



インストラクション

- ・「思っていることを話すと気持ちがいいし、友達の話聞いて、『へー』と思うことがありますよ」
- ・「周りの人はよく聞きましょう」

介入

- ・肯定的に受け止めて話せているか観察する。
- ・消極的な子供を誘って一緒にジャンケンをする。

シェアリング

- ・「友達のことを知ることはできましたか」

話の種

0…好きな場所

1…好きな動物

2…好きな教科

3…好きなおにぎりの具材

4…好きな色



おみやげ



ねらい 学校生活の不安が大きい時期に、楽しく新しい友達と関わることで、安心する集団づくりを目指す。

活動 じゃんけん
(マッスルじゃんけん、ラブリーじゃんけん)



方法 グー、チョキ、パーの代わりにマッスルやラブリーなポーズを使い、じゃんけんをする。

インストラクション

- ・「友達と楽しくポーズでじゃんけんしよう」
- ・「新しいと友達が増えそうですね」

介入

- ・「マッスル隊」や「ラブリー隊」のように、よりマッスル、ラブリーなポーズができている子供を紹介し、さらに楽しんで参加できるようにする。
- ・ペアを子供たち同士で自由に組むだけでなく、校内の先生対子供のような場を設定する。

シェアリング

- ・じゃんけんを通して、楽しい時間になったかを問うた後、どんなところが楽しかったのか問い、新しい友達と関わったことや多くの友達と関わったことを全体で共有する。





ねらい 友達と動きをそろえる喜びに気づき、仲間意識を育む。

活動 3時のおやつ

方法 教師や子供の好きなおやつとそのポーズを3つ決め、友達とタイミングを合わせてそのポーズをする。



インストラクション

- ・「友達と楽しくポーズがそろるかチャレンジしてみよう」
- ・「ポーズがそろると、友達とさらに仲良くなれそうだね」

介入

- ・「〇〇さんが、紹介し、さらに楽しんで参加できるようにする。」
- ・ペアを子供たち同士で自由に組むだけでなく、校内の先生対子供のような場を設定する。

シェアリング

- ・動きがそろわなくても、次はそろえようと意欲的に繰り返し挑戦していた姿を紹介したり、ポーズがそろったことでどんな気持ちになったのかを子供に問い、全体に広げたりすることで、いろいろな友達と関わる楽しさや集団の一員としての仲間意識が自覚できるようにする。



ねらい クラス替えによる不安感を和らげ、親和的な出会いをつくる。

活動 アウチでよろしく！

方法

- ・笑顔でやさしく相手の目を見つめ合う。
- ・人差し指同士を先を触れ合わせ、「アウチ」とあいさつする。



インストラクション

- ・「仲よくなるときには、あいさつの他に軽いふれあいもあると、親しさがわいて効果的です」
- ・「やさしいまなざしをつくってね」

介入

- ・恥ずかしがってためらっている子がいれば、教師が積極的に楽しむ。
- ・雰囲気停滞している場合は、ハイタッチをするかのように行う。

シェアリング

- ・「アウチをしてみて、どんな感じがしましたか」



ねらい 自分と友達との共通点に気付き、親近感を高める。
自分や友達の固有性に気付き、それを楽しむ。

活動 友達ビンゴ ～好きな食べ物の巻～

方法

- ・9マスビンゴに好きな食べ物を書き込む。
- ・グループで順番にカードに書いた好きな食べ物とその理由を言い、同じなら手をあげてもらい、お互いに丸をつける。



インストラクション

- ・「好きな食べ物が誰とどれくらい同じか楽しみだね。なかなかビンゴしない人は、特別な人かもしれないよ」
- ・簡単に好きな理由も言うから、それも考えながらやってみましょう」

介入

- ・なかなかビンゴにならず落ち込んでいる子がいれば、ユニークな存在であることに気づかせ、肯定的に価値づける。

シェアリング

- ・「グループで好き食べ物を聞き合って、どんなことを感じましたか」



ねらい 友達に前向きな思いを伝える。また、友達からの肯定的なメッセージにより自己肯定感を高める。

活動 友達の日 ～メッセージ編～

方法

- ・まずは、グループの友達に向けてメッセージを書く。
(付箋紙：ありがとう…赤、頑張っているね…黄、〇〇博士だね…緑、ここがいいな…水 など)
- ・グループで交換する。
(・時間があれば、グループ以外の友達にも書いてもよい)



インストラクション

- ・「先生はみんなが、言葉にして伝えてくれて嬉しいなと思ったことがあります。みんなは？」

介入

- ・書けそうな付箋紙を選ばせる。
- ・嬉しくなるようなことばを載せたヒントカードを見せる。

シェアリング

- ・「書いたときやもらったときは、どんな気持ちでしたか」



ねらい 一人一人の思いや考えに触れ、その子らしさに気付いてほしい。

活動 ブレインストーミング 「学校にあるといいものは？」

方法

- ・グループで、お題に対してできるだけたくさんのアイデアを出し合う。
- ・友達と同じものは「同じです」と声高に言う。
- ・グループでいくつ出せたか、どんなアイデアがあったかを発表する。

インストラクション

- ・「たくさんアイデアを出しましょう。友達のアイデアを改良するのはOKだから、聞き耳を立てましょう」
- ・「否定的な言葉は使わないようにしましょう」

介入 否定的な発言をする子供には注意を促す。

シェアリング

- ・「仲間のアイデアで『奇想天外』というものはありましたか」
- ・「自分のアイデアを活用してもらったとき、どんな気持ちでしたか」





ねらい 子供同士のつながりをさらに深めたい。教師と子供の心の距離を縮めたい。

活動 アドじゃん（ひたすらジャンケン、あいこでジャンケン）

方法

- ・できるだけ多くの人とジャンケン
- ・1~5本の指のいずれかを出し、同じ数なら○。同じ数が出るまで挑戦する。

インストラクション

- ・「いろいろな人とジャンケンするゲームです」
- ・「相手と同じ数がでるまでジャンケンをします。同じ数になったら自己紹介と握手をして別れます。続けて、また新しい相手と行い

ます」 介入

- ・肯定的に受け止めて話せているか観察する。
- ・消極的な子供を誘って一緒にジャンケンをする。

シェアリング

- ・「気持ちの変化はありましたか」



ねらい お互いのよさを認めたり、違いを受け入れられる集団にしたい

活動 ごちゅうもんはどっち？

- 方法**
- ・グループで2択のテーマについて自分はどちらを選ぶか、考えを語る。
 - ・10問用意しておき、時間の限り、複数の問題に挑戦できる。

インストラクション

- ・メンバーの発表を聞いて、気付いたことを伝えましょう。
- ・答えは1つではないので、みんな違ってみんないいのですよ。

- 介入**
- ・どうしても選べないときは、バスをしてもよいと伝える。



シェアリング

- ・「やってみて気付いたことや感じたことはありますか」



ねらい 相手のことを考えて行動できるようになる。

活動 友情ペン

- お互いの人差し指でペンをもつ。
- ペンを落とさないようにして様々な動きをする。



インストラクション

「友達のことを考えながら、いろいろな動きにチャレンジしてみましょう。」

介入

- 相手に合わせて動いていることを称賛する。
- 失敗をしてもよいことを伝える。

シェアリング

「活動して、気付いたことがあれば、発表してください。」
「友達の良さを見つけることができましたか？」



ねらい 相互理解を促進する。

活動 二者択一

- 二つのお題の好きな方を選ぶ。
- その理由について話し合う。



インストラクション

- 「自分の考えを伝え合いながら、相手と自分の違いを大切にし、仲を深めてほしいと思います。」

介入

- 理由がうまく話し合えないペアには注意を促し、その人らしさを大切にすることを確認する。

シェアリング

- 「話し合いの中で、感じたことや気付いたことを発表してください。」



ねらい 子供同士の関係を築いていく。

活動 テレパシー

- ・じゃんけんをして勝った方は1~3の数字を決め、目を合わせて相手に伝えようとする。
- ・負けた方は勝った人の考えている数字を予想して当てる。



インストラクション

- ・「友達の表情から考えている数を予想して、当ててみてください」

介入

- ・目を合わせることに抵抗がある場合は、別の方法で伝えてもよいことを共有しておく。
- ・参加しづらい子供と一緒にジャンケンをする。

シェアリング

- ・「活動して、感じたことや気付いたことを発表してください。」

学級目標 と 学級経営の 設定と運用



学級目標



（子供の思い）

- ・ しあわせ → みんなが輝く
- ・ なかよく → つながる
- ・ あかるい → 心が晴れる

【教師の願い】

- ・ 認め合い、人を大切にできるクラス

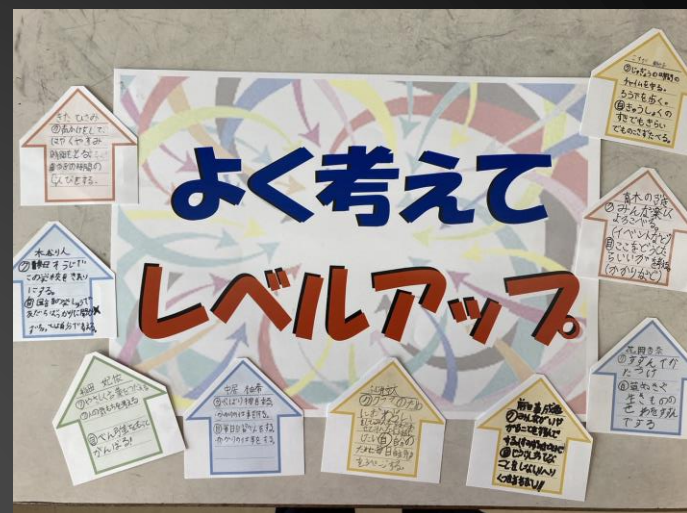
「たいよう」

…みんなのよさや頑張りでみんなを照らす
自分や友達のおかげで心が温かくなる

学級目標

(目標を作っているときの子供は…)

- ・ 学級目標はあるけど…
- ・ 目標って何かな… (自分、クラス)
- ・ 学年末の姿はどうなっているといいのかな…



(一人一人を大切にしたい教師の思い)

- ・ それぞれが目標を明確にする
- ・ 一人一人の目標をみんなが知れる
- ・ 個々の成長にクラスみんなで寄り添う
- ・ 振り返りを行い、さらに意欲を高める



学級目標

集団において協力し合える 5年西組



（子供の思い）

- ・協力できるクラス
- ・一人一人がみんなのことを考えるクラス

【教師の願い】

- ・楽しくて、誰にとっても居心地の良いクラス
- ・個性を活かすことができるクラス

「集団において協力し合う 5年西組」

…集団の中でそれぞれの個性を活かし、助けあったり協力し合ったりするクラス



- ・ その都度、立ち返るのは学級目標
子供たちの思いや願いがつまっている
みんなで決めた目標

- ・ **指導の基準**

子どもたちが納得するのは？
みんなで決めた、共通の目標だから
やりたいと思えるのは？
達成感があるのは？

- ・ 掃除
- ・ 廊下歩行
- ・ あいさつ
- ・ 友達関係
- ・ 学習への取り組み方
- ・ 係活動 …



フィードバックを大切に

- ・ **給食の配膳で**
困った場面をチャンスと捉え、助け合えるように
クラスのために動いてくれる子を称賛、モデルに
いただきますの後には価値付け、振り返り
- ・ **帰りの会で**
子どもや教師がすてきさんの紹介
～をしていました（見たこと、感じたこと）
～をしてくれました（してもらったこと、感じたこと）







アンケートのお願い

ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。

アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。



わくわく授業づくりワークショップのご案内

<p>8月22日(火) 14:00~15:30 オンライン併用</p>  	<p>1人1台端末の活用について part 1</p> <p>教師や子供が1人1台端末をどのように使っていくと効果的なのか、一緒に考えませんか。本校の教員が、教科の学習や学級活動の中で、1人1台端末をどのように活用しているのか、デジタルとアナログをどのように使い分けているのか、ご紹介します。子供の生き生きとした活動につなげるには、どのような工夫ができるのか、どのようなことに気をつけるとよいのか、端末を使いながら一緒に考えましょう。</p> <p>時間が変更になりました!! → 9:00~10:30</p> 
<p>8月25日(金) 18:30~20:00 オンライン</p> 	<p>1人1台端末の活用について part 2</p> <p>Part1に引き続き、算数科、道徳科、体育科の授業のICT機器を活用した実践事例をご紹介します。授業者がどのような意図でICT機器を活用したのか、子供にとって効果的であったのか、上手かった点やいかなかった点を交えながら、ご紹介します。また、大学の先生による助言や質疑応答の時間も予定しています。</p> <p>*詳細は、四国地域教職アライアンス 香川大学センター（主催）よりご案内いたします。</p> 
<p>2月22日(木) 18:30~20:00 オンライン併用</p> 	<p>自己調整力って何だろう？座談会</p> <p>自己調整力という言葉を知ったことがありますか？本校では、多様な他者と共に、自ら学びを進めるために必要な力と定義しています。この力はこれからの時代を生き抜く子供たちにとって、とても重要な力だと考えています。</p> <p>自己調整力を育てていくために、どのような授業や取組ができるのか一緒に考えていきましょう。香川大学の岡田 涼先生にもご参加いただき、率直に楽しくお話できればと思っています。</p>

本校HPより申込を受付中です♪

Instagramのご案内

屋島集団宿泊学習



キャンドルサービス



勾玉づくり!!



いかだづくり!!



令和5年度



学びをつくる 子供の育成

香川大学教育学部附属坂出小学校

この記事がいいなあと思ったら
2回タップ❤️お願いします!!

Please Follow Us!

